

イワトコナマズ種苗生産技術開発

根本 守仁

◆背景・目的

琵琶湖固有種であるイワトコナマズは、非常に美味であり、本県の第5次栽培漁業基本計画では、新たな栽培漁業対象種として量産技術開発が求められている。しかし当該におけるイワトコナマズの種苗生産は平成12年度に実施したのみであることから、本年度は過去の知見等をもとに種苗生産を試みた。

◆成果の内容・特徴

- ・親魚は、西浅井町地先で刺し網により漁獲され、その後、約10日間畜養したものをを用いた。
- ・採卵は、雌親魚に10IU/魚体重1gのゴナトロピンを腹腔内に注射し、水温を5℃上昇させて収容し、排卵したのから搾出して得た。精液は、雄親魚より精巣を摘出した後、乳鉢のなかでリングル液とともにすりつぶしたものをを用いた。
- ・採卵結果を表に示した。雌親魚8尾のうち卵が搾出できたのが7尾であった。このうち5尾から正常な仔魚が得られたが、孵化率は19.2～70.6%であった。
- ・孵化仔魚104尾を1尾ずつ水槽に収容し、5ヶ月間飼育したところ、生残尾数は60尾であり、生残率は57.7%であった。
- ・大量生産を目的に15㎡の池に7,500尾の孵化仔魚を飼育したところ、1週間目以降に共食い、また白点病の発生によりほとんど生残しなかった。

◆成果の活用・留意点

イワトコナマズの大量生産に当たっては、共食いを防止することが最大の課題であると考えられる。

表 イワトコナマズ採卵結果

No.	魚体重(g)	採卵直前の 魚体重(g)	採卵重量(g)	卵数(粒)	採卵重量/ 直前魚体重(%)	正常魚 孵化率(%)
1	2,102.7	2,219.8	244.4	41,800	11.0	0.0
2	1,335.2					
3	1,725.3	1,784.0	291.1	49,700	16.3	0.0
4	1,278.9	1,288.7	37.6	7,200	2.9	56.1
5	1,220.6	1,229.6	55.9		4.5	19.2
6	1,487.3	1,497.8	77.8	19,300	5.2	37.9
7	1,685.5	1,715.6	84.0	17,100	4.9	70.6
8	1,430.4	1,497.3	178.1	33,800	11.9	58.2